



2016年5月10日

BMW が国際写真祭「KYOTOGRAPHIE 2016」に協賛

ビー・エム・ダブリュ株式会社(代表取締役社長: ペーター・クロンシュナーブル)は、世界屈指の文化都市である京都を舞台に4月23日から開催中の国際的写真祭「KYOTOGRAPHIE 2016」を、プラチナ・スポンサーとして協賛している。

今回が第4回となるKYOTOGRAPHIEは、日本および海外の重要な写真コレクションを、京都市内の美術館、ギャラリー、寺院や歴史的建造物といった特別な空間に展示し、伝統工芸職人や最先端テクノロジーとのコラボレーションも実現するなど、京都ならではの特徴ある写真展として2013年から毎年開催されてきた。今回は繰り返される歴史、生と死の意味するもの、他者とのつながりを題材とする、「いのちの環」をテーマとしており、持続可能なモビリティを推進するBMWの価値観と一致することから協賛を決めた。

15ヶ所の会場で展示が実施される本イベントにおいて、BMWは京都市美術館別館2階で開催される「PLANKTON 漂流する生命の起源」展覧会をサポートする。フランス国立科学研究センター名誉ディレクターであるクリスチャン・サルデが撮影を担当した。世界の海を漂うプランクトンが生命の起源を映す、美しくも神秘的な世界を捉えた写真と映像が、日本を代表する映像作家である高谷史郎のインスタレーション、アカデミー賞音楽賞受賞の世界的音楽家・坂本龍一によるサウンドで彩られる。

BMWは4月22日に実施される前夜祭におけるBMW 7シリーズおよびBMW i8の展示、開会週末のBMW i3によるシャトルサービス、移動用BMW自転車を提供し、モビリティの面から本イベントをサポートする。

イベント概要

- 名称: 「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2016」
- 日時: 2016年4月23日(土)~5月22日(日)
- 会場: 京都市内 15 会場
京都市美術館別館、SferaExhibition、ロームシアター京都、両足院
無名舎、虎屋京都ギャラリーほか
- ウェブサイト: <http://www.kyotographie.jp/>
- 主催: KYOTOGRAPHIE 実行委員会
- 共催: 京都市・京都市教育委員会

BMW Group の文化事業について

BMW グループは 40 年以上にわたり国際的な文化支援事業を続けており、現在全世界で 100 件を超える文化プロジェクトに関わっている。BMW は主にモダン&コンテンポラリー・アートのほか、クラシック音楽、ジャズ、建築、デザインなどのジャンルにおいて長期的な支援を行っている。1972 年にゲルハルト・リヒターの手で、BMW グループのミュンヘン本部建物のロビーを飾る大作の絵画 3 点が作成された。以来、アンディ・ウォーホルとロイ・リキテンスタイン、オラファー・エリアソン、ズービン・メタ、アナ・ネトレプコ、ジェフ・クーンズら、数多くのアーティストが BMW とコラボレーションを組んできた。そのほか BMW は、本社社屋と工場的设计を、カール・シュヴァンツァー、ザハ・ハディッド、コープ・ヒンメルブラウなど著名建築家に依頼し、活動の場を提供してきた。2011 年には、ソロモン・R・グッゲンハイム財団、グッゲンハイム美術館、BMW グループによる国際的な共同企画として近未来の都市づくりの場を提供する BMW グッゲンハイム・ラボが、ニューヨークにおいて世界初のオープニングを飾った。BMW は、自由な創造活動の保証を重んじ、自動車メーカーとして重要な革新を成し遂げるにも、画期的な芸術作品の誕生にも、それは欠くことのできない要素であると認識している。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター：フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。

受付時間：平日 9:00-19:00／土日祝 9:00-18:00

BMW インターネット・ウェブサイト：<http://www.bmw.co.jp>